子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）

平成30年度予算（案）5,054百万円（4,494百万円）
（平成29年度補正予算（案）866百万円）

事業内容

エコチル調査とは、胎児期から小児期にかけての化学物質曝露が子どもの健康に与える影響を解明するための、長期的・大規模な追跡調査。

10万組の参加登録

妊娠初期・中期
- インフォームドコンセント
- 妊婦血液、尿の採取
- 質問票調査

→

出産時
- 母の血液・毛髪、父の血液の採取
- 出生児の健康状態を確認
- ろ紙血（出生児）の採取
- 臍帯血の採取

→

1ヶ月時
- 赤ちゃんの毛髪の採取
- 母乳の採取

→

13歳の誕生日まで
- 質問票調査（半年ごと）
- 面接調査（数年ごと）
- 環境試料の採取

- 化学物質等の測定、分析
- 生体試料の長期保存　等

⟷

- 遺伝要因、生活習慣要因、社会要因等と併せて統計分析

適切なリスク評価体制の構築

安全・安心な子育て環境の実現

実施体制

環境省
- 予算の確保
- 環境政策の検討
- 各省との連携
- 国際連携

コアセンター（国立環境研究所）
- 調査実施の中心機関
- データシステムの運営
- 試料の保存分析、精度管理
- ユニットセンター管理・支援

ユニットセンター（全国15地域の大学等）
- 参加者のリクルートと13歳に達するまでの追跡
- 生体試料の採取、質問票調査の実施

メディカルサポートセンター（国立成育医療研究センター）
- 調査における医学的支援

- 2016年のＧ７富山環境大臣会合において、長期的かつ大規模な疫学調査は世界に類はなく高く評価され、引き続き実施することとされている。